

生野区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第18号

平成31年2月発行

地域でごみ減量・3Rの取組をより推進

「ごみ減量市民交流会 2019」開催される



交流会で主催者あいさつする花田代表（写真中央）

平成31年2月7日(木)午後1時30分から大阪産業大学梅田サテライトキャンパス(大阪市北区大阪駅前第3ビル)において、大阪ごみ減量推進会議主催の「ごみ減量市民交流会 2019」が開催され、北鶴橋連合推進員の荒木連合代表、異連合異西第4町会の辰巳女性部長が参加されました。

セミナーの主催者を代表して、大阪ごみ減量推進会議代表の花田眞理子さんは、「交流会で活発な討論や意見交換会ができるよう期待します」と挨拶されました。

交流会第1部の事例発表「ごみ減量マスターの活動」では、大阪府寝屋川市からごみの



北鶴橋連合推進員
荒木連合代表



異連合異西第4町会
辰巳女性部長

現状と「ごみ減量マスター制度」の取組について報告され、続いて「学びを力に行動を起こすー3R低炭素社会検定への挑戦から新たなチャレンジへー」では大阪府守口市から環境部内における自主学習会の開催や出前講座の実施などの報告がありました。

第2部交流会では、第1分科会「廃棄物減量等推進員の活性化」、第2分科会「市民・事業者・行政の連携」、第3分科会「食品ロスをなくすには」、第4分科会「紙のリサイクルをすすめるには」、第5分科会、「イベントでのごみゼロ」、第6分科会「びんのリユース・リサイクル」の各6分科会に分かれ、荒木推進員は第1分科会、辰巳女性部長は第4分科会に参加されました。各分科会では課題報告と意見交換が行なわれた後、最後に各分科会のまとめ報告が行なわれ市民交流会を終了しました。

容器包装プラスチックをもっと分別しよう！

家庭から出される普通ごみは年間約 33.2 万トンあり、その中には資源化できるものが約 8.3 万トンも含まれています。

ごみの減量、資源の有効利用には、資源化できるものを分別して出すことが大切です。

私たちの住む街 【生野区】 って、どれくらい分別できているの？

【生野区の分別率】

資源ごみ 69.0% 古紙・衣類 53.4% **容器包装プラスチック 35.0%**

★生野区の目標★

1 回に出す普通ごみの中から、さらに
1 人あたり 4 g（発泡トレイ（M）1 枚分）の容器包装プラスチックを分けて
出しましょう！！

各小学校において出前授業（体験学習）を開催予定

毎年、4 月から 6 月にかけて、東部環境事業センターからご要望のあった小学校へ伺い、環境問題をテーマにした出前授業(体験学習)を実施しています。

昨年度から各小学校区の廃棄物減量等推進員の皆様にご協力をいただき、環境局職員と一緒に出前授業に参加していただいております。

今年度も、各地域の小学校からご要望があった場合、お声掛けをさせていただきますので、ご都合の許す限りご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。



昨年度の出前授業の風景

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

